



会社概要

本社	千葉県野田市野田250
工場	千葉県野田市、兵庫県高砂市
設立	1917年
資本金	115億9千9百万円
主要製造品目	キッコーマンしょうゆ、しょうゆ関連調味料ほか
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は、436百万円と2004年度に比べ271百万円増加しました。

この主な理由は、排水処理設備などへの投資による公害防止関連費用が109百万円増加したこと、およびメタン設備などへの投資による研究・開発関連費用が153百万円増加したことなどによるものです。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は、2004年度に比べ89百万円向上し、692百万円となりました。

この主な理由は、しょうゆ粕、植物性残さ、一般雑芥などの廃棄物・副産物（再生利用）効果が向上したためです。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は2,145百万円で、2004年度とほぼ同額となりました（2004年度実績:2,284百万円）。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	277	1,559
公害防止	241	484
地球環境保全	25	201
資源循環	11	874
上流または下流コスト	0	204
流通		204
管理活動コスト	0	240
環境保全		240
研究開発コスト	159	119
研究・開発	159	119
社会活動コスト	0	23
自然保護、団体・地域支援		23
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	436	2,145

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	10,533 kℓ	28,544	9,960 kℓ	26,992	1,553	105.8
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	7 kℓ	17	7 kℓ	17	0	100.0
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	51,757 千kwh	19,564	51,436 千kwh	19,443	121	100.6
LPG	3.002 CO ₂ t/t	1,817 t	5,455	1,884 t	5,656	-201	96.4
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	3,737 千m ³	7,878	3,215 千m ³	6,777	1,100	116.2
合計			61,458		58,885	2,573	104.4

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

有効利用分除く

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	168	437	199	517	-81	84.4
段ボール、木屑	1.650	174	287	217	358	-71	80.2
廃油	2.900	130	377	61	177	200	213.1
汚泥	1.100	3,583	3,941	4,120	4,532	-591	87.0
植物性残さ	2.442	741	1,810	293	716	1,094	252.9
一般雑芥ほか	2.442	786	1,919	163	398	1,521	482.2
不燃物	0.000	251	-	260	-	-	96.5
合計		5,833	8,771	5,313	6,698	2,073	131.0

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	168	437	168	100.0	437
段ボール、木屑	1.650	174	287	174	100.0	287
廃油	2.900	130	377	130	100.0	377
しょうゆ粕(飼料)	1.180	16,382	19,331	16,382	100.0	19,331
しょうゆ油(魚餌その他)	2.700	945	2,552	945	100.0	2,552
みりん粕(飼料)	1.080	524	566	524	100.0	566
汚泥	1.100	3,583	3,941	3,583	100.0	3,941
植物性残さ	2.442	741	1,810	741	100.0	1,810
一般雑芥ほか	2.442	786	1,919	785	99.9	1,917
不燃物	0.000	251	-	210	83.7	-
合計		23,684	31,219	23,642	99.8	31,217

熱利用分を加えると

しょうゆ粕(燃料)		6,844		6,844	100.0	
しょうゆ油(燃料)		1,375		1,375	100.0	
総計		31,903		31,861	99.9	

*しょうゆ粕、しょうゆ油、みりん粕の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

製造部門

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	3,554 千ℓ	3,513 千ℓ	41 千ℓ	101.2
窒素酸化物(NOx)*	38,668 kg	37,244 kg	1,424 kg	103.8
硫黄酸化物(SOx)	12,587 kg	11,903 kg	684 kg	105.7

*しょうゆ粕、油燃焼除く



環境会計詳細データ 日本デルモンテ株式会社

会社概要

本社	東京都中央区日本橋小網町4-13
工場	岩手県二戸市、福島県南相馬市、群馬県沼田市、長野県千曲市、長野県下高井郡
設立	1961年
資本金	9億円
主要製造品目	デルモンテ製品、キッコーマンソース、キッコートマト製品ほか
ウェブサイト	http://www.delmonte.co.jp/

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は、2004年度に比べ4百万円減少し、17百万円でした。

その内容は、排水処理および防音壁など公害防止対策に対する投資でした。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は142百万円で、2004年度に比べ87百万円向上しました。

この主な理由は、廃棄物・副産物の低減、および廃棄物・副産物再生利用が2004年度に比べ向上したためです。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は、2004年度比54百万円減少し、334百万円でした(2004年度実績:388百万円)。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	17	302
公害防止	11	207
地球環境保全	5	5
資源循環	1	90
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	32
環境保全		32
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	17	334

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	10,646 kℓ	28,851	10,429 kℓ	28,263	588	102.1
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	16 kℓ	42	14 kℓ	37	5	114.3
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	48 kℓ	120	45 kℓ	112	7	106.7
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	19,452 千kwh	7,353	18,789 千kwh	7,102	251	103.5
LPG	3.002 CO ₂ t/t	1 t	3	1 t	3	0	100.0
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	45 kℓ	104	59 kℓ	137	-33	76.3
合計			36,473		35,654	819	102.3

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	276	718	291	757	-39	94.8
段ボール、木屑	1.650	614	1,013	578	954	59	106.2
廃油	2.900	42	122	4	12	110	1,050.0
りんご搾汁粕	1.470	490	720	264	388	332	185.6
トマト搾汁粕	2.149	210	451	241	518	-67	87.1
緑茶粕	1.789	639	1,143	848	1,517	-374	75.4
污泥	1.100	1,374	1,511	1,815	1,997	-485	75.7
植物性残さ	2.442	777	1,897	1,044	2,549	-652	74.4
一般雑芥ほか	2.442	18	44	27	66	-22	66.7
不燃物	0.000	1,133	-	1,088	-	-	104.1
合計		5,573	7,620	6,200	8,757	-1,137	87.0

※りんご搾汁粕、トマト搾汁粕、緑茶粕はキッコーマン・グループの測定値

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	276	718	269	97.5	699
段ボール、木屑	1.650	614	1,013	607	98.9	1,002
廃油	2.900	42	122	42	100.0	122
りんご搾汁粕(飼料)	1.470	490	720	490	100.0	720
トマト搾汁粕(飼料)	2.149	210	451	210	100.0	451
緑茶粕(堆肥)	1.789	639	1,143	639	100.0	1,143
污泥	1.100	1,374	1,511	1,371	99.8	1,508
植物性残さ	2.442	777	1,897	777	100.0	1,897
一般雑芥ほか	2.442	18	44	3	16.7	7
不燃物	0.000	1,133	-	1,130	99.7	-
合計		5,573	7,620	5,538	99.4	7,550

※りんご搾汁粕、トマト搾汁粕、緑茶粕の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	2,997 千kℓ	2,976 千kℓ	21 千kℓ	100.7
窒素酸化物(NO _x)	21,783 kg	21,379 kg	404 kg	101.9
硫黄酸化物(SO _x)	12,734 kg	12,473 kg	261 kg	102.1



環境会計詳細データ マンズワイン株式会社

会社概要

本社	東京都港区西新橋2-1-1
工場	山梨県甲州市、長野県小諸市
設立	1962年
資本金	9億円
主要製造品目	マンズワイン(ソラリスシリーズ)、スパークリングワインほか
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/manns/

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は25百万円で、2004年度に比べ7百万円増加しました。

その主な内容は、勝沼ワイナリーでの南側フェンス沿い防油(液)堤の設置、雨水と工場排水の水路を分離する排水配管嵩上げ工事の実施、廃棄物置場建屋の建設、および小諸ワイナリーでの浄化槽(400人槽)の据付など、公害防止対策への投資でした。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は46百万円で、2004年度とほぼ同額となりました(2004年度実績:47百万円)。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は27百万円で、2004年度に比べ6百万円向上しました。

この主な理由は、廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果が向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	25	33
公害防止	25	16
地球環境保全		
資源循環		17
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	13
環境保全		13
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	25	46

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	268 kℓ	726	267 kℓ	724	3	100.4
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	3,040 千kwh	1,149	3,055 千kwh	1,155	-6	99.5
合計			1,875		1,878	-3	99.8

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	27	70	35	91	-21	77.1
段ボール、木屑	1.650	56	92	44	73	20	127.3
廃油	2.900	0	0	1	3	-3	0.0
污泥	1.100	336	370	353	388	-19	95.2
植物性残さ	2.442	385	940	423	1,033	-93	91.0
一般雑芥ほか	2.442	3	7	3	7	0	100.0
不燃物	0.000	173	-	179	-	-	96.6
合計		980	1,480	1,038	1,595	-115	92.8

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	27	70	0	0.0	0
段ボール、木屑	1.650	56	92	56	100.0	92
廃油	2.900	0	0	0	-	0
污泥	1.100	336	370	336	100.0	370
植物性残さ	2.442	385	940	383	99.5	935
一般雑芥ほか	2.442	3	7	0	0.0	0
不燃物	0.000	173	-	171	98.8	-
合計		980	1,480	946	96.5	1,397

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	334 千kℓ	340 千kℓ	-6 千kℓ	98.2
窒素酸化物(NOx)	1,282 kg	1,285 kg	-3 kg	99.8
硫黄酸化物(SOx)	320 kg	319 kg	1 kg	100.3



環境会計詳細データ

利根コカ・コーラボトリング株式会社

会社概要

本社	千葉県野田市中根310
設立	1962年
資本金	16億円
主要製造品目	コカ・コーラ、アクエリアス、ジョージアコーヒー、爽健美茶ほか
ウェブサイト	http://www.tone.ccbc.co.jp/

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は699百万円で、2004年度に比べ69百万円増加しました。

この主な理由は、アスベスト飛散防止工事に15百万円、新規事業所への浄化槽など排水設備設置に11百万円、緑地管理に9百万円、雨水回収利用施設建設に22百万円をそれぞれ投資したことによるものです。また、子会社資産買取において、公害防止施設関連などの初年度取得（投資）が17百万円発生しました。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は1,052百万円で、2004年度に比べ153百万円増加しました。

この主な理由は、省エネ型新冷媒自販機導入の減価償却費用が86百万円増加したこと、および廃棄物処理費用を算出する方法を見直したことで、見かけ上、費用が52百万円増加したことによるものです。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は、2004年度に比べ32百万円向上し、92百万円となりました（2004年度実績：60百万円）。

この主な理由は、増加した廃棄物のほとんどを再生利用したことにより、廃棄物抑制（再生利用）効果が向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	690	591
公害防止	48	35
地球環境保全	620	476
資源循環	22	80
上流または下流コスト	0	415
流通		415
管理活動コスト	9	38
環境保全	9	38
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	8
自然保護、団体・地域支援		8
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	699	1,052

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	1,194 kℓ	3,133	1,197 kℓ	3,141	-8	99.7
電力	0.378 CO ₂ t/kwh	7,827 kwh	2,959	7,873 kwh	2,976	-17	99.4
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	1,008 kℓ	2,341	990 kℓ	2,299	42	101.8
合計			8,432		8,416	17	100.2

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	600	1,560	426	1,108	452	140.8
段ボール、木屑	1.650	3,159	5,212	3,113	5,136	76	101.5
植物性残さ	2.442	231	564	0	0	564	-
一般雑芥ほか	2.442	1,314	3,209	1,598	3,902	-694	82.2
不燃物	0.000	11,609	-	6,907	-	-	168.1
合計		16,913	10,545	12,044	10,146	399	103.9

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	600	1,560	7	1.2	18
段ボール、木屑	1.650	3,159	5,212	3,159	100.0	5,212
植物性残さ	2.442	231	564	119	51.5	291
一般雑芥ほか	2.442	1,314	3,209	0	0.0	0
不燃物	0.000	11,609	-	9,315	80.2	-
合計		16,913	10,545	12,600	74.5	5,521

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	30 千ℓ	30 千ℓ	0 千ℓ	100.0
窒素酸化物(NO _x)	12,425 kg	12,296 kg	129 kg	101.0
硫黄酸化物(SO _x)	598 kg	600 kg	-2 kg	99.7



環境会計詳細データ イトシア株式会社

会社概要

本社	茨城県猿島郡五霞町川妻1122
設立	1973年
資本金	5千万円
主要製造品目	爽健美茶500mlペット、その他の缶飲料、シャーベット、レギュラーコーヒーほか
ウェブサイト	http://www.eatsia.co.jp/

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度は、環境保全に関する投資はありませんでした。

2006年度は、環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得に伴い、環境保全活動をより積極的に推進していきます。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は、2004年度に比べ4百万円減少し、71百万円となりました(2004年度実績:75百万円)。

この主な理由は、2004年度は排水処理過程での省エネ

ギー推進のため水中エアレーターを更新しましたが、同年度中に更新が完了し、2005年度はこれに関わる費用が発生しなかったことによるものです。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は138百万円となりました。

この主な理由は、廃棄物・副産物の低減効果が低下したものの、爽健美茶の茶粕排出量(年間2,800トン)の25%を飼料(有価物)として再利用したことで、廃棄物・副産物(再生利用)効果が向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	0	61
公害防止		30
地球環境保全		
資源循環		31
上流または下流コスト	0	4
流通		4
管理活動コスト	0	6
環境保全		6
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	0	71

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	3,321 kℓ	9,000	3,303 kℓ	8,951	49	100.5
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	58 kℓ	152	70 kℓ	184	-31	82.9
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	14,780 千kwh	5,587	14,380 千kwh	5,436	151	102.8
LPG	3.002 CO ₂ t/t	41 t	123	44 t	132	-9	93.2
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	155 kℓ	360	152 kℓ	353	7	102.0
合計			15,222		15,055	166	101.1

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	177	460	116	302	159	152.6
段ボール、木屑	1.650	117	193	113	186	7	103.5
廃油	2.900	0	0	1	3	-3	0.0
汚泥	1.100	244	268	356	392	-123	68.5
植物性残さ	2.442	3,377	8,247	2,875	7,021	1,226	117.5
一般雑芥ほか	2.442	29	71	31	76	-5	93.5
不燃物	0.000	39	-	59	-	-	66.1
合計		3,983	9,239	3,551	7,979	1,260	115.8

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	177	460	149	84.2	387
段ボール、木屑	1.650	117	193	117	100.0	193
廃油	2.900	0	0	0	-	0
汚泥	1.100	244	268	244	100.0	268
植物性残さ	2.442	3,377	8,247	3,377	100.0	8,247
一般雑芥ほか	2.442	29	71	0	0.0	0
燃物	0.000	39	-	39	-	-
合計		3,983	9,239	3,926	98.6	9,095

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	737 千kℓ	722 千kℓ	15 千kℓ	102.1
窒素酸化物(NO _x)	10,641 kg	10,498 kg	143 kg	101.4
硫黄酸化物(SO _x)	3,998 kg	3,982 kg	16 kg	100.4



環境会計詳細データ

KIKKOMAN FOODS, INC. (KFI)

会社概要

本社 N1365 Six Corners Road, Walworth, Wisconsin 53184, U.S.A. (米国)
工場
ウィスコンシンプラント(米国ウィスコンシン州)
設立 1972年
主要製造品目 キッコーマンしょうゆ、テリヤキソース、めんみ、てんぷらソースほか
カリフォルニアプラント(米国カリフォルニア州)
設立 1998年
主要製造品目 キッコーマンしょうゆ

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は、2004年度に比べ63百万円増加し、194百万円となりました。

その主な内容は、排水処理設備や熱回収設備に対する投資でした。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は131百万円で、2004年度に比べ19百万円増加しました。

これは、ISO14001にもとづく環境マネジメント体制の一層の強化のため、コンサルタント費用や社員研修費用などが増加したことによるものです。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は180百万円で、2004年度に比べ51百万円向上しました。

この主な理由は、エネルギー(化石燃料)抑制効果、廃棄物・副産物(再生利用)効果が大幅に向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	190	95
公害防止	167	78
地球環境保全	23	6
資源循環	0	11
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	4	36
環境保全	4	36
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	194	131

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	27,294 千kwh	10,317	25,776 千kwh	9,743	574	105.9
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	6,477 千m ³	13,654	6,522 千m ³	13,748	-95	99.3
カンリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	7 kℓ	16	4 kℓ	9	7	175.0
合計			23,987		23,501	486	102.1

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	88	229	46	120	109	191.3
段ボール、木屑	1.650	191	315	184	304	12	103.8
廃油	2.900	4	12	0	0	12	-
汚泥	1.100	1,823	2,005	1,226	1,349	657	148.7
植物性残さ	2.442	355	867	317	774	93	112.0
一般雑芥ほか	2.442	148	361	97	237	125	152.6
不燃物	0.000	147	-	616	-	-	23.9
合計		2,756	3,789	2,486	2,783	1,006	136.2

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	88	229	54	61.4	140
段ボール、木屑	1.650	191	315	191	100.0	315
廃油	2.900	4	12	4	100.0	12
しょうゆ粕(飼料)	1.180	8,947	10,557	8,947	100.0	10,557
しょうゆ油(その他利用)	2.700	145	392	145	100.0	392
汚泥	1.100	1,823	2,005	0	0.0	0
植物性残さ	2.442	355	867	24	6.8	59
一般雑芥ほか	2.442	148	361	0	0.0	0
不燃物	0.000	147	-	147	100.0	-
合計		11,848	14,738	9,512	80.3	11,475

※しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	575 千kℓ	636 千kℓ	-61 千kℓ	90.4
窒素酸化物(NOx)	15,739 kg	15,325 kg	414 kg	102.7
硫黄酸化物(SOx)	0 kg	0 kg	0 kg	-



環境会計詳細データ

KIKKOMAN (S) PTE LTD (KSP)

会社概要

本社	7 Senoko Crescent, Singapore 758263 (シンガポール)
工場	同上
設立	1983年
主要製造品目	キッコーマンしょうゆ、テリヤキソース

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は18百万円で、2004年度に比べ10百万円増加しました。

この主な理由は、騒音対策、排水負荷低減対策などに対する投資が増加したことによるものです。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は17百万円で、2004年度に比べ8百万円増加しました。

これは、排水負荷低減費用や省エネ対策費用が増加したためです。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は42百万円で、2004年度に比べ17百万円向上しました。

この主な理由は、エネルギー低減効果および廃棄物・副産物(再生利用)効果が向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	18	14
公害防止	15	11
地球環境保全	3	1
資源循環		2
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	2
環境保全		2
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	1
自然保護、団体・地域支援		1
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	18	17

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	409 kℓ	1,073	529 kℓ	1,388	-315	77.3
電力	0.378 CO ₂ t/kwh	2,633 kwh	995	2,803 kwh	1,060	-64	93.9
合計			2,068		2,448	-379	84.5

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
段ボール、木屑	1.650	33	54	34	56	-2	97.1
廃油	2.900	0	0	0	0	0	-
一般雑芥ほか	2.442	271	662	271	662	0	100.0
合計		304	716	305	718	-2	99.8

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
段ボール、木屑	1.650	33	54	33	100.0	54
廃油	2.900	0	0	0	-	0
しょうゆ粕(飼料)	1.180	1,048	1,237	1,048	100.0	1,237
しょうゆ油(その他利用)	2.700	5	14	5	100.0	14
一般雑芥ほか	2.442	271	662	271	100.0	662
合計		1,357	1,966	1,357	100.0	1,966

※しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	62 千ℓ	73 千ℓ	-11 千ℓ	84.9
窒素酸化物(NOx)	1,411 kg	1,649 kg	-238 kg	85.6
硫黄酸化物(SOx)	205 kg	265 kg	-60 kg	77.4



環境会計詳細データ

KIKKOMAN FOODS EUROPE B.V. (KFE)

会社概要

本社	De Vosholen 100, 9611 TG Sappemeer, The Netherlands (オランダ)
工場	同上
設立	1996年
主要製造品目	キッコーマンしょうゆ、テリヤキソースほか

2005年度の評価と分析

環境保全投資

2005年度の環境保全投資は1百万円で、2004年度と同額でした。

環境保全費用

2005年度の環境保全費用は30百万円で、2004年度とほぼ同額でした。

環境保全効果

2005年度の環境保全効果額は23百万円で、2004年度に比べ7百万円向上しました。

この主な理由は、廃棄物・副産物(再生利用)効果が向上したことによるものです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

主な取り組みの内容	投資	費用
生産・サービス	1	19
公害防止		15
地球環境保全		
資源循環	1	4
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	5
環境保全		5
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	6
自然保護、団体・地域支援		6
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	1	30

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		使用量	CO ₂ 換算t/y	使用量	CO ₂ 換算t/y		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	2,286 千kwh	864	2,379 千kwh	899	-35	96.1
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	802 千m ³	1,691	868 千m ³	1,830	-139	92.4
合計			2,555		2,729	-174	93.6

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数CO ₂ t/t	2005年度		2004年度		増減CO ₂ t/y	前年比%
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	排出量t/y	CO ₂ 換算t/y		
廃プラスチック	2.600	5	13	5	13	0	100.0
段ボール、木屑	1.650	23	38	27	45	-7	85.2
廃油	2.900	1	3	1	3	0	100.0
一般雑芥ほか	2.442	30	73	26	63	10	115.4
不燃物	0.000	8	-	8	-	-	100.0
合計		67	127	67	124	3	102.6

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数*CO ₂ t/t	2005年度				
		排出量t/y	CO ₂ 換算t/y	再生利用t/y	再生利用率%	再生利用CO ₂ 換算t/y
廃プラスチック	2.600	5	13	5	100.0	13
段ボール、木屑	1.650	23	38	23	100.0	38
廃油	2.900	1	3	0	0.0	0
しょうゆ粕(飼料)	1.180	836	986	836	100.0	986
しょうゆ油(その他利用)	2.700	0	0	0	-	0
一般雑芥ほか	2.442	30	73	30	100.0	73
不燃物	0.000	8	-	8	100.0	-
合計		903	1,114	902	99.9	1,111

※しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

その他の環境負荷量(用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量)

	2005年度	2004年度	増減	前年比%
用水	37 千kl	43 千kl	-6 千kl	86.0
窒素酸化物(NOx)	1,622 kg	1,728 kg	-106 kg	93.9
硫黄酸化物(SOx)	0 kg	0 kg	0 kg	-